

# みんなのた場

## サ一フル 仲問

93 依庭親睦会

### 男同士で和気あいあい 自由な発想で活動展開

石巻市北村の依庭ふれあいセンターを拠点に活動している「依庭親睦会」(横澤昌憲代表)は、依庭地区に住む60歳以上の男性23人の会です。さまざまな交流活動を通して親睦を深めることを目的に平成27年5月に発足したばかりの新しい団体です。

「地域住民が集つての交流」と聞けば、女性中心の会を思い浮かべることが多いかもしれません。しかし、こちらに所属するのは男性だけというのが大きな特徴です。「依庭地区の男性は内気な人が多く、女性がいると遠慮をしまつて思つてしまうからです」と冗談めかしく語るのは横澤代表(61)です。「男だけでやりたいことを、やりたいようにやろうじゃないかという、自由な雰囲気は何よりも大切にしています」と説明します。

「次はどんな活動をすつてえなや!」んで、やって

昨年「お茶こ飲み」を兼ねた情報交換会をはじめ、健康講習会や栄養相談会、しめ縄編み、音楽鑑賞会等バラエティーに富んだ催しを実施してきました。

「会員たちは皆、毎月の交流活動を心待ちにしています。今後も細く長く続けていきたいです」と話していました。



▲依庭親睦会の皆さん



▲正月飾りのしめ縄作りに励む会員の皆さん

「家では会話をする相手がないので、じつとテレビを見ているだけ。こうして会員の皆と世間話に花を咲かせたり、体を動かしたりする時間がとても楽しく、心のリフレッシュや生きがいにつながっています」と充実感をにじませます。

毎月第3木曜日を活動日としていますが、状況次第で随時日程を変更するのも依庭流です。横澤代表は「会員たちは皆、毎月の交流活動を心待ちにしています。今後も細く長く続けていきたいです」と話していました。

「来年計画はなく、基本的には会員たちが「やってみたい」と思ったことをやるのが会のポリシーです。行き当たりばつたりの企画も少なくありませんが、それもまた依庭親睦会ならではの魅力といえます。」

発起人で副代表の吉田秀一さん(81)は、4年前に最愛の奥様を亡くしました。

## 文化財 たんぽう

89

### 川村孫兵衛と吉田松陰

石巻市教育委員会 生涯学習課

2016年4月、石巻市と山口県萩市は友好都市協定を結びました。そこで、石巻



▲吉田松陰の宿所跡 (中央二丁目)

市と関わりのある萩市出身の二人の人物を紹介いたします。旧長門国阿武郡出身の川村孫兵衛重吉(1574〜1648)は毛利氏家臣

で、土木技術に長けていました。のちに浪人となりましたが、慶長年中(1596〜1615)に仙台藩主伊達政宗がその土木技術の才を見込んで召し抱えたといわれています。当時、仙台藩北部は野谷地が広がり洪水も多く、農作物の収穫が上がらなかつたため、孫兵衛は北上川に迫川・江合川を和渚



▲孫兵衛像(日和山公園)

付近で合流させる改修工事を行ったとされます。その結果、新田開発が進み、北上川の水運が発達し、石巻が川と海との結節点となつて、現在の石巻の発展の礎となりました。

もう一人は旧松本村出身の吉田松陰(1830〜1859)です。彼は1851年から東北地方を

視察、翌年3月16日に石巻を訪れています。日和山からの眺望を楽しみ、活気あふれる港町石巻の様子を『東北遊日記』に著しています。

友好都市協定によって萩市と石巻市のさまざまな交流事業が計画されていますが、歴史や文化に触れながら、友好を深めていきたいものです。

## キラッとパチリ

### 健康で活力ある街へお手伝い

今年4月に着任した福田さんは、主に復興住宅に入居した皆さんを訪問して健康調査にあたっています。札幌市に12年勤務し、保健センターで母子保健や健康づくりの業務等に携わってきました。その経験を生かして、誰

もが健康で暮らせる街を目指して仕事にまい進しています。「市の職員や市民の皆さんは距離が近く、親切な方ばかりです」と地域の絆の深さも感じています。

初めて訪れた石巻市の風の強さに驚きながらも「港



健康部 健康推進課

福田由佳さん 38歳 北海道札幌市から派遣



復興政策部 地域協働課

酒井佑子さん 26歳 東京都台東区から派遣

町らしく魚介類がとても新鮮でおいしく、特にホヤは格別です」と目を細めます。

同じく今年4月から石巻市で仕事にあたりている酒井さんは、女性の社会進出や男性の子育て参加促進等、男女共同参画に関する業務に携わっています。

震災直後の平成23年6月に学生ボランティアで石巻市を訪れて以降も足を運び、市民の皆さんの温かさにもふれ、考え方や行動力に大いに刺激を受けました。今度は市職員として働くことで、微力ながらお手伝いできればと思ひ派遣に志願しました。

「私のように、一度訪れた人がまた来たいと思える魅力あふれる石巻市になつてほしいです」と話していました。

# まちの話題

## 雄勝地区



4月29日(金・祝)  
雄勝ローズガーデンファクトリー等

### 雄勝石の楽器で 奏でる癒やしの音

中部地方の演奏者20人による「雄勝花物語ふれあいコンサート」が開かれ、心地良い音色が会場に響きました。東北地方の復興支援に取り組む名古屋市の胡弓演奏者の石田音人さんと、愛知県の八電リバティーバンド等が出演しました。石田さん製作の雄勝石を一部に用いた胡弓の深みのある音色や陶器太鼓による軽快なリズムが来場者たちを魅了しました。

## 河北地区



4月10日(日)  
はまなすカフェ

### 特産のカキに 長蛇の列

「はまなすカフェ」のオープン1周年を記念した「長面浦牡蛎まつり」が開かれました。震災前の住民や市内外から多くの人たちが訪れ、節目を祝いました。「はまなすカフェ」は、普段は漁業者が番屋として利用する「海人の家」で日曜日に開設し、地元食材によるメニューを提供しています。イベントでは地元で獲れたカキ等が振る舞われ、来場者は舌鼓を打ちながら旧交を温めていました。

## 桃生地区



4月10日(日)  
桃生地区中津山

### 交通安全をドライバーの皆さんに 呼びかけました!!

春の交通安全運動期間にあわせ、JAいしのまき桃生中央支店駐車場で、交通安全街頭キャンペーンが行われました。今回の街頭キャンペーンには、桃生地区交通安全協会桃生支部の会員をはじめ、河北警察署や交通安全指導隊の皆さんが参加しました。ドライバーに啓発グッズを配布しながら交通安全と交通事故防止を呼びかけました。

## 河南地区



4月17日(日)  
広淵農業担い手センター前広場

### 地域彩る 華麗な山車

広淵の春の風物詩「河南鹿嶋ばやし山車まつり」では、広淵小学校6年生たちが笛や太鼓によるおはやしを披露し、家内安全、無病息災、五穀豊穡を祈願しました。鎮守の神として地域に厚く信仰されている鹿嶋神社の春の祭典は、神輿とともに華麗な山車が練り出します。今年は、大阪夏・冬の陣での真田幸村のりりしい姿を描いた本山車やミニ山車、花馬車が地域を活気づけました。

## 牡鹿地区



4月15日(金)  
鮎川浜

### 石巻魚市場牡鹿売場が 念願の再建

震災で甚大な被害を受けた石巻魚市場牡鹿売場と製氷冷蔵庫が完成したことを祝って記念式典が開かれました。震災前は別棟だった両施設は一体化し、延べ床面積は約1700平方メートルとなりました。ポンプを通して砕氷を直接船に積み込む機能が加わる等魚の鮮度保持機能が高まりました。式典の後には内覧会のほか餅まきもあり、集まった地域の人たちも笑顔を見せていました。

## 北上地区



4月21日(木)  
北上小学校校庭等

### 学校、地域で 子ども見守りパトロール

児童たちを不審者や変質者から守るため、市内一斉に年4回実施している学校区パトロールの一環で、北上小学校区パトロールが行われました。下校する児童たちに先生たちが付き添って家まで送ったほか、地元建設業協会による「見守り隊」が安全パトロール車に同乗して各地区で安全を確認しました。また、保護者も下校時間に合わせて通りや玄関先に出て子どもたちを迎えました。

## 石巻地区



5月8日(日)  
石巻中央公民館

### 大好きなアニメ曲が いっぱい

マンガのまち石巻の復興を願って、「<sup>まんが</sup>de音楽祭 吹奏楽2016」が開かれました。平成26年に始まり、3回目となる今年は、市内の小学校特別音楽クラブや中学校吹奏楽部、社会人バンド等の8団体約80人が出演しました。ディズニーメロデーをはじめ、「銀河鉄道999」や「ゲゲゲの鬼太郎」等の幅広い世代に愛されるアニメ曲を力いっぱい演奏し、集まった約120人の耳を楽しませました。

## 石巻地区



4月16日(土)、17日(日)  
日和山公園

### 6年ぶりに 夜桜ライトアップ

石巻地方でも屈指の桜の名所である日和山公園で、震災後初めての夜桜ライトアップが行われました。今年は春先の暖かさで例年より早い桜の開花でしたが、ちょうど満開を迎えていた木もあり、6年ぶりのライトアップを楽しもうと多くの人たちが訪れました。公園内には約15個のハロゲン灯が設置され、日没に一斉に明かりが放たれると、「とてもきれい」等の声があがっていました。